



2024年度 年主題くさあ、漕ぎだそう~奏でよう~

0・1・2歳児6月主題「あれっなんだ」

月のねがい

- ◎保育者の祈りやさんびかを歌う姿に触れる
◎周りの人に興味をもち、関わってみようとする
◎自分の好きなものに関わる中で、興味を広げていく
◎梅雨の自然や小動物に触れ、季節を感じる

3・4・5歳児6月主題「みつける」

月のねがい

- ◎保育者と祈り、賛美する生活を通して、神さまの存在を知る
◎嬉しい時も悲しい時も共にいてくださる神さまに感謝し礼拝の時を喜ぶ
◎自分の思いを言葉だけでなく笑ったり泣いたりして表情や姿でも現す
◎園内外の自然に触れ、気候の変化を感じ、開放感を味わう



~ツマグロヒョウモン~

5月に入り園庭に、毎年恒例のツマグロヒョウモンの幼虫が産まれました。登園後、準備を終えた子どもたちは、さっそくすみれの花をチェックします。幼虫を見つけると、「優しくね」と子ども同士で話をしながら虫かごに移している姿が観られます。

日が進むにつれ、2階の子どもたちだけではなく、ひかり組さんも幼虫探しに参加します。「優しく」手の平にのせる姿がみられるなど、子どもから子どもへ繋がって楽しんでいく姿に嬉しく思うことでした。

幼虫もさなぎになり、さなぎからちょうへ成長し、いよいよツマグロヒョウモンの産立ちの日...

全員で虫かごを囲んで、くじらさんの「今からツマグロヒョウモンを逃がします!」の合い言葉で虫かごをオープン!

「動かないね...」「まだ、飛ばないね...」と心配な表情の子どもたち。羽が動き始めると、「頑張り!頑張り!」の大応援です。子どもたちの声援を背に無事に空に旅立つことができました。

ツマグロヒョウモンが飛び立つ様子を見て、「はいはい!また来てね」「良かったね!」と安堵の表情を浮かべていた姿がとても愛らしく印象的でした。

毎年恒例のツマグロヒョウモンの成長を通して、異年齢の子どもたちの繋がりができたり、年長さんの姿を観て憧れになったりと、いい経験になっていると感じました。園庭や公園でダンゴムシ、カタツムリ、トカゲ、バッタ等々たくさんの生き物に触れ合う子どもたちです。命の大切さもしっかりと伝えていながら観察、飼育が展開していければと思います。

梅雨も間近に、ジメジメする季節となってきました。規則正しい生活を心がけ、ジメジメに負けないように毎日楽しく、元気に過ごしていきたいと思います。 江口



6月の行事予定

Table with 2 columns: Date and Event. Includes 職員研修(熊毛地区研修), 歯科健診, 6月生れ誕生会(2才以上), 弁当日, 子育て遊びの会・講演会.

7月の行事予定

Table with 2 columns: Date and Event. Includes 七夕訪問, 海遊び(4・5才児)弁当日, お泊まり保育, 海遊び(2・3才児), 7月生れ誕生会(2才以上), 市プール遊び・弁当日, 一学期終了式, 役員会, 職員研修, めぐみ組誕生会 7・8月生.



今月の聖句

「見よ、それは極めて良かった」

創世記1:31

先日、100人規模のある会議を開いていた時のことです。この会議のために、とても性能の良いワイヤレスマイクを導入しました。音質も音量も申し分なく、テストの段階では完璧だったのですが、ところが、実際に使い始めると、時々ノイズが入り始め、結局有線マイクでやり取りするはめになりました。

聖書は、天地創造の神が宇宙も、私たちの住む地球も、動植物も、そして何よりも私たち人間を造られたと語ります。そして、全ての創造物の中で、人に対してだけ「極めて良かった」と言いました。けれども、そこにノイズが入り込んだのです。「極めて良い」はずの人間の中に、罪というノイズが入り込むようになり、今日の社会で起きている様々な悲惨な出来事の根底に、この罪の問題が関わっています。

けれども、そういう墮落してしまった罪人なる私たちを、神さまはもう一度「極めて良い」状態に戻してください。それが神の御子イエス・キリストの存在なのです。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」(ヨハネによる福音書3:16)。

協力牧師 池田基宣



あなたにはあなたのままでいい
例年より台風一号の発生が遅かったようですが、こんな年は六月の発生数が多いことになるようです。また、全国的に梅雨入りは遅く、梅雨明けは例年並みで、短期集中型になることと予測されています。

あなたはあなたのままでいい

子ども健康な身体を育む食育

5月に実施した食事・生活調査のご協力、ありがとうございました。各ご家庭での食事の様子もその中からうかがい知ることが出来ました。園でも、「落ち着いた雰囲気の中で皆が美味しく食べる」を目標としていますが、4・5月の子どもたちの給食の様子を見てみると、椅子に座ったときの姿勢が崩れたり、途中で席を立ったり、おこぼしが多かったりと、気になっています。食事のマナーは、自分自身が食事をきちんと行うことが出来るようになるためと、周りの人たちに嫌な思いをさせないものためです。自分のため、そして周りの人のために食事のマナーも守れるように習慣つけていきたいものです。



では、姿勢がくずれの原因については

- 悪い姿勢が習慣化した
- 外遊びなど全身を使う機会が減った
- ソファに座る機会が多い
- ゲームをする姿勢が悪い 等々

生活環境や生活習慣によるものなども原因として挙げられます。姿勢改善に向けた取り組みとしては

・良い姿勢の形を知り、よい姿勢をとる習慣をつけてあげる

理学療法士の西村猛さんは『子どもと姿勢研究所』を立ち上げて活動をしながら、「姿勢ピン!ポーズ」を提唱しておられます。子どもたちの丸まった背中を伸ばすと、集中力が上がる・体幹筋が強くなる・ケガをしにくいからに整えられていきます。

大人の私たちも、運動不足から背骨の柔軟性がなくなり首・肩・背中がガチガチになっていませんか。しっかりと胸をはる・左右の肩甲骨を真ん中に引き寄せる・背中を真っ直ぐにして上に伸びあがる等の姿勢を意識しながら心地よい生活を送りたいものです。 園長



登園できますようご協力をお願いします。
六月を迎えて、子どもたちは少しずつ園生活にも慣れてきました。朝の礼拝や体操にも落ち着きを感じられます。日々の経験から得る「自分」や「気づき」が興味を広げていきます。「先生、見て!来て!」と、自分の存在を認めて欲しいと願う気持ちこそ、自律ある育ちの原動力ではないでしょうか。
最後にありがとうございましたが、フリー参観・試食会には多くの方の来園をいただきありがとうございます。子どもたちの日常の活動を少しでも見たいという日々が続きますが、早寝早起き、朝ごはんまで元気にお園で参りますようにご協力をお願いします。

学園長